

- 子育て世代向けの住環境整備を目指す南部町と連携協定を締結
➡ 県・町共同で実証実験を行い、得られた知見と成果の横展開を図る

南部町の課題分析

- 出生率は全国の値を大きく下回る1.01
結婚要因である有配偶率と夫婦の出生力要因である有配偶出生率がともにマイナスに影響
- 「移住・定住力」が低く、若者や若い夫婦の定住を促す施策が強く求められている
- 転出者は、隣接する静岡県に4割弱、年代別では25歳～44歳の子育て世代が4割超を占める
- 子育て世帯向けの民間賃貸住宅の供給量が少なく、結婚・子育てを理由に近隣都市へ流出

山梨県の課題

- 「子育て世代に選ばれるやまなし」の強化
 - ・ 2024年は30代で転入超過（215人）に転換
 - ・ このトレンドの全県的な定着・拡大を図りたい
- 子育てしやすい魅力的な住環境を強みに
 - ・ 満足度の高い住まいの普及で、理想の子ども数の実現を後押ししたい



まずは、民間賃貸住宅のストックが少ない峡南地域からモデルづくりを展開

南部町を舞台に
実証実験

南部町の取組

- 子育て世代にゆとりある高品質な住宅と暮らしやすい住環境を提供
 - ✓ 子育てに適した住宅の整備
 - ✓ 子育て世帯に対する包括的支援
 - ✓ 地域住民を交えた周辺コミュニティの活性化
- ➡ 効果検証の基礎条件の整備
入居者や地域住民等を対象とした調査への協力

山梨県の取組

- 子育てに適した住宅整備に係る財政的支援
- 子育てに適した住宅の基準（性能・面積・立地・デザインなど）に関する技術的支援
- 効果検証の実施に関する支援
- 職員派遣による人的支援



成果を横展開

「南部モデル」の他市町村への波及で
子育てしやすい住環境の全県展開へ

